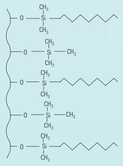
Agilent HPLC カラムナビゲータ

低分子、逆相アプリケーション

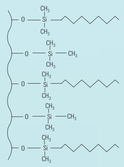
分析対象成分、移動相、機器、およびサンプルの条件によって、最適なカラムは異なります。アジレントの ZORBAX および Poroshell HPLC カラムファミリでは、30 を超える相が 5 つの粒子径で提供されており、さまざまな分析のニーズにお応えします。進化を続ける幅広いラインナップの中から、高精度の分析を短時間で実行するためのカラムをお選びいただけます。また、お客様のラボから世界各地のラボに同じメソッドを移行することも可能です。

Poroshell 120: ラボの装置を最大限に活用できる、高速かつ高分解能分析に対応したカラムです。業界初の高分子用表面多孔質粒子である Poroshell 300 の導入後、アジレントは低分子のためのテクノロジーを開発しました。Poroshell 120 は、低分子、またはペプチドマッピングアプリケーション用の表面多孔質粒子テクノロジーで、一般的な HPLC で使用できる圧力を保ちながら、高速高分解能の性能を実現しています。

ZORBAX Eclipse Plus: 幅広いアプリケーションで優れたピーク形状を実現するために開発されたカラムです。アジレントは、シリカ担体および結合技術の改良に焦点を当て、より正確で感度の高い結果が得られるように、ピーク形状を改善しました。Eclipse Plus は、特殊な結合処理、および最適化されたエンドキャップ処理を持っています。これにより、Eclipse Plus はメソッド開発における第一の選択肢です。



ZORBAX Eclipse XDB: 優れたピーク形状、およびフレキシビリティの高いカラムです。広い pH にわたってピーク形状を改善する独自のエンドキャップ処理を行った Eclipse XDB は、高純度シリカの高密度化学結合とダブルエンドキャップ処理を備えた最初の ZORBAX カラムです。アジレントは、自社工場でシリカの段階より製造していることから、品質、分離の再現性などを幅広く制御することが可能です。

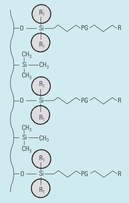


主なカラムサイズ:

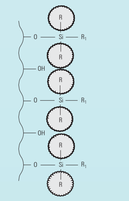
アナリティカル:	内径 4.6 mm
ソルベントセーバ:	内径 3.0 mm • 内径 4.6 mm のカラムと比較して移動相を最大 50% 節約
ナローボア:	内径 2.1 mm - 通常は LC/MS アプリケーションで使用
マイクロボア:	内径 1.0 mm
キャピラリ:	内径 0.3 mm および 内径 0.5 mm
分取:	内径 9.4 mm および 内径 21.2 mm

ZORBAX Extend-C18: このカラムは塩基性化合物のピーク形状の改善に焦点を当ててきました。特に pH 8～11 の分離において、ピーク形状を改善できます。高 pH でのシリカの効率の優位性を維持するため、特殊な二座型 (シリカをシールドし、pH 11 まで高分離可能な C18 カラム) を開発しました。

ZORBAX Bonus-RP: 塩基性化合物の分析では、カラムの寿命と性能の両立が課題になります。Bonus-RP は、塩基性化合物で優れたピーク形状を実現するためのカラムとして開発されました。アミド結合を用いた結合相は、高水性移動相のピーク形状を改善します。さらに、カラムの寿命を伸ばすためのStableBond 処理を開発し、アミド結合とアミド結合の安定性を高める独自のトリプルエンドキャップ処理を行いました。



ZORBAX StableBond: 最適なクロマトグラフィ結果の一部は、低 pH 移動相を使用して実現されます。ただし、これらの移動相は、結合層 (特にエンドキャップ処理された素材) で使用することが難しい場合があり、また StableBond 以前では、pH 1 での分離に対する選択肢はありませんでした。アジレントは、低 pH で非常に安定した特殊な結合を開発しました。また、タイプ B シリカを備えた最初の製品として、優れたピーク形状と長寿命が実現しました。そして完成したのが、pH 1 まで対応する優れた性能を備えた StableBond です。



詳細は、ホームページをご覧ください。
www.agilent.com/chem/jp
または、アジレント販売店またはカストマコンタクトセンタ
(フリーダイヤル：0120-477-111) までお問い合わせください。

Our measure is your success.

products | applications | software | services

Agilent Technologies

本文書に記載の情報、説明、製品仕様等は予告なしに変更されることがあります。著作権法で許されている場合を除き、書面による事前の許可なく、本文書を複製、翻案、翻訳することは禁じられています。

アジレント・テクノロジー株式会社
© Agilent Technologies, Inc. 2010
Printed in Japan
March 12, 2010
5990-5325JAJP